

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 8 月 26 日 (2021.8.26)

【公開番号】特開 2019-107132 (P2019-107132A)

【公開日】令和 1 年 7 月 4 日 (2019.7.4)

【年通号数】公開・登録公報 2019-026

【出願番号】特願 2017-241232 (P2017-241232)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 0 4 B

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 7 月 16 日 (2021.7.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

発射手段によって発射された遊技球を 1 球ずつに整流して流下させる導入口、第 1 流路、第 2 流路、及び振分部を有し、前記導入口から導入された遊技球を、前記振分部によって前記第 1 流路又は前記第 2 流路のいずれかに振り分けて流下させる流路形成手段と、

前記第 1 流路又は前記第 2 流路を流下した遊技球の入球が可能な第 1 入球手段と、

少なくとも前記第 2 流路を流下した遊技球の入球が可能であり、前記第 1 入球手段とは機能が異なる第 2 入球手段と、

前記第 2 入球手段への遊技球の入球を制限する第 1 位置と、前記第 2 入球手段への遊技球の入球を許容する第 2 位置との間で動作可能な可動手段と、

前記第 2 入球手段との間に遊技球の流下が可能な領域を形成し、遊技盤の右側領域に打ち出された遊技球を前記第 2 入球手段に入球可能に流下させる誘導部と、

を備え、

前記可動手段は、

前記第 1 位置と前記第 2 位置との間でスライド移動可能であり、

前記第 1 位置において、前記第 2 入球手段を入球制限状態にして、前記第 2 流路を流下した遊技球又は遊技盤の右側領域に打ち出された遊技球の前記第 2 入球手段への入球を制限し、

前記第 2 位置において、前記第 2 入球手段を入球許容状態にし、かつ前記誘導部と前記第 2 入球手段との間に遊技球の流路を形成し、前記第 2 流路を流下した遊技球又は前記右側領域に打ち出された遊技球の前記第 2 入球手段への入球を許容するものであり、

前記第 1 位置は、前記領域を開放する位置であり、

前記第 2 位置は、前記領域の少なくとも一部を閉鎖する位置であり、

本遊技機は、

前記可動手段を制御して前記入球制限状態と前記入球許容状態とを発生させる制御手段を備え、

前記制御手段は、

少なくとも第 1 遊技状態と、前記第 1 遊技状態より遊技者にとって有利なる第 2 遊技状態とに遊技状態を切り替え可能な遊技状態切替手段を備え、

本遊技機は、前記第 1 遊技状態において前記可動手段が前記第 2 位置に移動して前記入球許容状態となった時に前記誘導部から誘導された遊技球が、前記可動手段が前記第 2 位置に移動することによって形成される前記流路の上側を前記第 2 入球手段に向けて流下したとしても、遊技球が前記第 2 入球手段に入球するよりも前に前記可動手段が第 1 位置に移動されることによって前記第 2 入球手段に入球することを制限する手段を備え、

前記可動手段は、前記第 1 入球手段の垂直方向の上方を避けて配置されていることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

[形態]

発射手段によって発射された遊技球を 1 球ずつに整流して流下させる導入口、第 1 流路、第 2 流路、及び振分部を有し、前記導入口から導入された遊技球を、前記振分部によって前記第 1 流路又は前記第 2 流路のいずれかに振り分けて流下させる流路形成手段と、

前記第 1 流路又は前記第 2 流路を流下した遊技球の入球が可能な第 1 入球手段と、

少なくとも前記第 2 流路を流下した遊技球の入球が可能であり、前記第 1 入球手段とは機能が異なる第 2 入球手段と、

前記第 2 入球手段への遊技球の入球を制限する第 1 位置と、前記第 2 入球手段への遊技球の入球を許容する第 2 位置との間で動作可能な可動手段と、

前記第 2 入球手段との間に遊技球の流下が可能な領域を形成し、遊技盤の右側領域に打ち出された遊技球を前記第 2 入球手段に入球可能に流下させる誘導部と、

を備え、

前記可動手段は、

前記第 1 位置と前記第 2 位置との間でスライド移動可能であり、

前記第 1 位置において、前記第 2 入球手段を入球制限状態にして、前記第 2 流路を流下した遊技球又は遊技盤の右側領域に打ち出された遊技球の前記第 2 入球手段への入球を制限し、

前記第 2 位置において、前記第 2 入球手段を入球許容状態にし、かつ前記誘導部と前記第 2 入球手段との間に遊技球の流路を形成し、前記第 2 流路を流下した遊技球又は前記右側領域に打ち出された遊技球の前記第 2 入球手段への入球を許容するものであり、

前記第 1 位置は、前記領域を開放する位置であり、

前記第 2 位置は、前記領域の少なくとも一部を閉鎖する位置であり、

本遊技機は、

前記可動手段を制御して前記入球制限状態と前記入球許容状態とを発生させる制御手段を備え、

前記制御手段は、

少なくとも第 1 遊技状態と、前記第 1 遊技状態より遊技者にとって有利なる第 2 遊技状態とに遊技状態を切り替え可能な遊技状態切替手段を備え、

本遊技機は、前記第 1 遊技状態において前記可動手段が前記第 2 位置に移動して前記入球許容状態となった時に前記誘導部から誘導された遊技球が、前記可動手段が前記第 2 位置に移動することによって形成される前記流路の上側を前記第 2 入球手段に向けて流下したとしても、遊技球が前記第 2 入球手段に入球するよりも前に前記可動手段が第 1 位置に移動されることによって前記第 2 入球手段に入球することを制限する手段を備え、

前記可動手段は、前記第 1 入球手段の垂直方向の上方を避けて配置されている

ことを特徴とする遊技機。